

ミャンマー地震

市民からの募金 AMD Aに寄託

総社市

大地震が発生したミャンマーの被災地支援に役立ててもらおうと、総社市は7日、市



大西調整員(右)に募金を

託す片岡市長

民から寄せられた募金53万3085円を国際医療ボランティアAMD A(岡山市)に寄託した。(4面関連)

総社市はAMD Aとの多文化共生に関する協定に基づき、3日から市役所や出張所、公民館の計12カ所に募金箱を設置。AMD Aは現地の支援ニーズを探るため4日から医師ら3人を最大都市ヤンゴンに派遣している。

市役所で寄託式があり、片岡聡一市長が「難しいミッションだと思

うが確実に届けて」とAMD Aの大西彰・災害対策調整員に募金を手渡した。大西調整員は「被災地の人々に寄り添った支援に使うため、現地との調整を急ぐ」と述べた。

式には市の呼びかけに応じた市内のミャン

マー人実習生ら6人が出席。ピエツピエツピヨさん(24)は「大変な状況の中、助けてもらい心から感謝している」と話した。

市は引き続き募金を呼びかけている。

(小畑誠)